



# 名古屋いのちの電話



写真 文珠 幹夫

い  
き

まど・みちお

いきをとめたら

だれだって しぬ

でも わすれていても

いきは じぶんで

いきを している

ああ なんてだろう

かみさまが

いきに そう させて

みんなを いかして

くださってるんだなあ

みんなを ほんとに

だいすきなので…

『まど・みちお全詩集』(理論社)より



# いのちを見つめて

柿本大真

## 生き死に

永平寺を開山した道元は、著書「正法眼蔵」(しょうぼうげんぞう～祖師の論された正しい仏法のことを納めた、目玉のように大切にすべき本) 後進の修行者の為に書き著した本で、95巻で構成されるが、その中の「生死の巻」(しょうじ)に、

『ただ生死すなわち涅槃(煩惱の焰を吹き消した静寂の境をいう)とこころえて、生死としていとうべきもなく、涅槃としてねがうべきもなし。このときはじめて、生死をはなるる分あり。』(抜粋、原文は漢文)と、記している。

生き死にそのものが、仏教の目標とする平穩の境地に他ならないと理解して、生き死にについて嫌うべきでもないし、平穩の境地といて願望すべきでもない。そして、このように両極端のいずれにも偏らない立場に立つとき、初めて生き死にの問題を超越する力量が具わるのである。と。

また、「諸悪莫作の巻」(しょあくまくさ)では、『生をあきらめ死をあきらむるは、仏家一大事の因縁なり』とも記す。

生を解明し、死を解明することは、仏教徒が企図する真理を把握するという一大事業のための直接・間接の原因であり条件である。この世における生き死にや日常の明け暮れこそ、人間の真実の姿である。と、いう。

古来、生き死にの問題は、我々人間の人生問題において重要な課題で、釈迦も生苦、死苦を取りあげて、しばしばこれを論じている。

## 刹那刹那に

私たちの身のまわりには、一刻一刻、呼吸をし

て生きているものが沢山あります。

人間は勿論のこと、草も、木も、鳥も、動物も、虫も、魚も、みんな一生懸命に一秒一秒を生きている。それらを見て生きているとは思っても、死に急いでいるとは思わない。

新鮮であるということは、たちまち古くなるともいえます。人間だって古くなって命が尽きたと、淋しがり悲しむ。世の中は無常で、はかないことばかりだときめつける。だが、自分をとりまく一切のものははかなく消え去るだけでなく、そう思う自分自身が、実は一刻一刻亡びつつある。30歳、40歳代が人生の花盛りゆえに、何時までも踏みとどまっていたいと思い、願う。でも例外なく老い進んでいきます。だから消えていく命なればこそ、今、生きていることが尊く、また意義深いことなのであります。

若者はまだまだ命があると思って、とかく無茶なこともやる。年配者は、あと何年生きられるかなあ、などと生命をいとおしんで暮らします。両者の中間年代はというと、職業など生活に追われている状態で、そんなことは考えたこともない。

無数にあやなす因縁に包まれて、息づいているのが私たちの姿です。生きていくためには、辛く、苦しいことも多くあり、そこから逃れられない場合があります。耐え忍ばなければならないために傷ついたり、損をしたり、遠回りをしたりすることとなる。そんなまわりの環境に振り回され、自分自身すら見失って、生き甲斐を無くしてしまう不幸な人達がでる。釈迦は、「生老病死」の四つの苦しみを説かれたが、まさに「生の苦しみ」をあじわうこともある。

## 人生

結婚披露宴のスピーチで、人生は山あり谷あり  
荒海あり、照る日曇る日、などと言われ、人生を  
いろいろな語句で例える。山路を歩くようなもの。  
重き荷を背負うて遠き道を行くが如し。逆境・順  
境の回り舞台。また人生行路などと言われるよう  
に、旅にも例えられる。この世を旅と見た一人松  
尾芭蕉も、一月日は百代の過客にして行きかう  
年も又旅人なり、舟の上に生涯を浮かべ、馬の口  
とらえて老いを迎える者は日々旅にして旅を栖と  
す—。(奥の細道)、更に、—旅に病んで夢は枯  
野をかけめぐると、文字面の裏に隠れた厳し  
さをよみ込んでいる。

また、ガンに侵され、己れの身体が不治の病と  
知りつつ、そんな境遇の中で書き上げた作家高見  
順も、

詩「かえる旅」の中で、

— 帰れるから旅は楽しいのであり

旅の寂しさを楽しめるのも

わが家にいつかは帰れるからである。

この旅は自然へかえる旅である

帰るところのある旅だから

楽しまなくてはならないのだ

もうじき土に帰れるのだ

大地へ帰る死を悲しんではならない—と、  
元へ帰るだけのことだと捉えている。

凡人はこうはいかない。あの世(死)の旅路に  
戻り道はなく淋しい一人旅で、困ることは、いつ  
出発するのか一向に解らないということ。出かけ  
る日を承知していれば、それなりの覚悟もあろう  
ものに、人間にはそれが許されない。この厳しさに  
気づき学び、生死の問題を究める…人生。

## ベトナムにて

昨秋ベトナムへ出かけた。ホーチミン郊外のク  
チに、当時総延長250キロにも及んだという、地  
下トンネルの一部が残され、観光地となっている。



人ひとりがやっと通れるトンネルの秘密出入口

小柄なベトナム人向きの狭いトンネルであるが、  
秘密の出入り口を使って、アメリカ軍の前後左右、  
自在に出没を繰り返し、敵を混乱させ勝利したと  
ガイドが得意そうに言う。周囲を見回すが大木は  
無い。ただ、朽ちかけた残骸があるのみ、例の枯  
葉剤のせいであろう。

先に進むと何種類かの仕掛けが展示してある。  
これを見て大変な衝撃を受けた。人間虎挟み等は  
ましである。それは、それぞれ形式は違うのであ  
るが、人間串刺し機なのだ、釘状の先のとがった  
金属棒を、軸を中心に放射状に沢山取り付けられ  
たものを二つ並べて置き、その上を枯葉などで隠  
し、落ちた人間を両輪が串刺しにするのである。  
また、地面に落とし穴を掘り、下には何本かの竹  
槍が待っている。これは、私の生まれ故郷では猪  
を獲る仕掛けであったが、人間に使ったのだ。

「地獄の黙示録」で見たような記憶があるが、  
現場に立つとアメリカ兵のはまった姿が、鮮明な  
イメージとして脳裏に浮かび、映画のシーンより  
も強烈な恐怖を感じたのであります。

戦後生まれで経験は無いのであるが、今も地球  
上で戦争が続く、大切な命を奪い合う戦いは無く  
なって欲しいとひたすら願うのみである。

(曹洞宗 薬師寺住職)

## —第12回国際ライフライン 台湾カオション大会での感激—

2002年11月16日から19日にかけて開催された国際大会の参加に当たっては、お世話を頂いた東京の小野田さんに感謝しなければなりません。また現地ガイドの豊かな知識力と行き届いた配慮で楽しい旅をさせていただきました。

高雄市内には、《生命的希望 Hope of Life 国際生命線2002 台湾高雄世界大会》の旗が町中にひらめいて市をあげての取り組みを感じさせられ、開会式でも、副大統領が出席して挨拶されるなど、国全体としてこの世界大会への関心の高さが感じられました。基調講演・記念撮影・「歓迎の夕べ」に始まって、毎夜のレセプションはノーベル賞授賞式並みではないかと思われるものでした。



二日目の午後はカオションセンターボランティア達の案内で澄清湖の散策を楽しみ、「高雄の夕べ」はホテルのプールサイドで南国の夜を十分に満喫させてくれました。

三日目の午後にはいくつかの見学コースが用意されていて、「高雄市政府社会局 長青服務中心」を見学しました。韓国人11人・日本人2人に台湾の人6人というメンバーだったことから案内説明のほとんどは韓国語で行われましたが、高雄センターの蔡美楡さんが私たち日本人2人に付き添うようにして日本語訳をして下さった優しさをとても嬉しく思いました。「長青服務中心」の「長青」とは青年を長くやっている人ということだそうです。こんなところにも優しさが感じられました。地上11階地下2階の素晴らしい建物で演芸や娯楽は勿論、パソコ

ン教室、絵画・書道教室などの教養部門も充実しており、手芸・造花作品の発表コーナーや玉突き・社交ダンスを楽しむ人々もあるなかで託老デイケアのフロアでは、ほんやりと力なく腰掛けていた人に「こんにちは！」と声をかけると驚いたように目を輝かせて「こんにちは どこからきた？」と日本語で答えてくれて思わず話が弾んだときは嬉しくなつてつい、長居してしまいました。

そんな光景を見ていた職員の方が、一人の女性を伴ってこられ、「この人日本人ですよ」と紹介してくださいました。75歳のその方は、戦後台湾に渡って結婚し、今は高さんという台湾籍になっていることでした。長男が大学の学長をしていることや、今年の夏には曾孫が誕生したこと、ボランティアをしたり、センターで楽しんだりして過ごし、娘の一人がキャリアウーマンでまだ結婚していないことぐらいが今の悩みだと幸せな生活を語って安心させてくれました。「岐阜には兄嫁が住んでいる」と懐かしそうに私たち一行について歩き、別れられない様子でした。カラオケ教室では、韓国の一行が飛び入りで賑やかに何曲かを歌い、次は日本人だと引っ張り出されて高さんが懐かしいという「さくら」と「星影のワルツ」をリクエストされて一緒に歌い、楽しいひと時を過ごしました。驚いたことに、日本語のカラオケを使って歌っていたのです。75歳以上の人々は日本語教育を受け、とても親日家が多いということです。

夜には「国際の夕べ」が用意されて和やかに国際交流が行われました。

19日よいよ最終日、分科会総括講演はパワーポイントで紹介され、次回3年後世界大会開催予定のアメリカへのバトンタッチがあり「また会いましょう」と誓い合いました。2004年には台湾新竹市でアジア・太平洋ライフライン大会が行われることもアピールされました。

4日間にわたってカオションセンターボランティアの皆さんの温かい接遇に感謝！感謝の気持ちをからだ中一杯詰めたまま帰国の途につきました。次回必ずまた会いましょう。との誓いを胸に……

(評議員 常富佳子)

## 2年目を迎えた「自殺予防のちの電話」

2002年12月1日午前0時「自殺予防のフリーダイヤル」が始まりました。一昨年の第一回目は、初めてということもあり、いろいろな問題を残し四苦八苦したのですが、今回は早くから「いのちの電話」連盟で実行委員会を立ち上げ、手際よく、また効果的に取り計らっていただいた。当センターにおいても、フリーダイヤルのためのその一週間はいうに及ばず、電話相談員の事前研修、電話担当の動員と調整に周到な準備を整え、加えて相談員のためゆめめ献身のおかげで万端つつがなく終えることができました。

名古屋センターの受信件数は、第一回目よりも66件多い354件で、そのうち自殺指向者は136件ありました。全国集計をみてみますと受信総数は11,052件あり、一昨年のそれよりも1,705件多くなっております。自殺指向者数も385件多い3,422件という記録を残しています。この数字は、名古屋センターでは38.4%、つまり、3件に1件は何らかの形で自殺に関する電話でありました。通常「いのちの電話」はともすれば、開設当初の自殺予防ということからはなれ、いろいろな悩み事相談が多くなっている現状を見ましても、厚生労働省の後援で始まった「自殺予防のフリーダイヤル」の施行は意義あるものと思われま

す。フリーダイヤル週間が終わってその反省をこめたアンケートをとったところ、いのちの電話の原点である自殺予防という目的が認識できたという意見が多くありました。また、相談員のための事前研修を行うことによって、全国レベルでのマニュアル共有、確認が出来たことも有意義なことでした。名古屋センターでも3回の事前研修が行われて、ロールプレイを中心に100人の相談員が参加しました。広報面においては、今回は全国紙に加え地方有力紙でも一面に政府広報が載り、いのちの電話の活動が広くゆきわたったことも確

かでした。早朝のNHK全国放送でも取り上げられてそれ自体でも効果がありました。

そうして、今年の大きな特色は自殺防止事業として「公開講座」を開催する予算がついたことでした。名古屋いのちの電話も、2月16日に「伏見ライフ プラザ」において、「いのち」と題した二部形式の講演がもたれました。前半では「あしなが運動と自死遺児の支援」を、あしなが育英会の柳瀬和夫氏の話、およびその出版「自殺って言えなかった」の手記を、ゆりの会メンバーによって朗読。第二部に共和病院院長の榎本和さんの「自殺その意味するもの」の講演がありました。こうした市民公開講座は、全国で40センターが開催を企画し、多くの市民参加によって、いのちの電話の活動が広く知れ渡る機会にもなったと思われます。

反面、実施時期についてのクレームも無視することが出来ません。何故、暮れの12月でなければならないのか。その件に関しては、たまたま12月1日の世界エイズ・デイとあわせて、いのちの大切さを知るためにその一週間を当てたということではありますが、早期にこの12月の第一週が自殺予防のフリーダイヤルという年間行事に繰り込めたらという願いがあるということです。またセンターによってはまだ24時間体制を取っていないところが半数近くありますが、せめてこのフリーダイヤル週間くらいは全国規模で24時間実施で統一できないかという意見もありました。

この自殺予防のフリーダイヤルは今後も恒例化されることと思われます。全国のいのちの電話では、こうした一週間だけの行事でなく毎日やすむことなく、多くの人たちの悩みを、苦しみを、さまざまな問題を、一緒に考え話し合いたいと思っています。そうして少しでも心が通い合うことを願っております。

(事務局長 加藤省吾)

## ご援助ありがとうございます

2002年10月より2003年1月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告を申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただきます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
理事長 長岡 利貞  
財務委員会

### 賛助会員 A

木本精之助 金沢島正強 須田正代 北郁子 小川義雄・マリ子	石鈴森平鶴 田木野野 義郁宣義秋 人雄子明信 出口芳己・美津江	神岡服菅水 田部原野 正庸武美信 春男雄子義	伊藤孝一・雅子 佐地多厚利あさ子 川上岡藤	山口幸男 佐々木武千寿子 和田部千宏 伊部博
愛知日野自動車(株)川村敏夫		名古屋聖霊病院	聖母カテキスタ会本部	川名山聖霊修道院

### 賛助会員 B

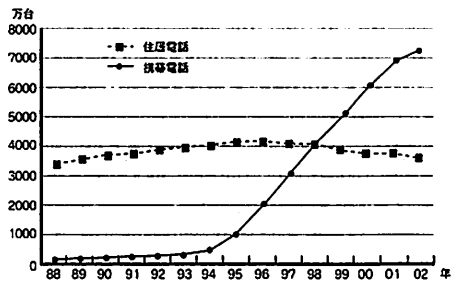
加藤倫子 鼓持三宣夫 持田岡山川岡瀬口 武片森福村溝	山青西坂寺廣高 田山村本田野橋 美代子玄稜子信計久子 良康仁善青	坂田今大伊大細神 東中枝隅藤森川野 信節澄甲みつ啓 吾子子吾子樹拓子	岡津佐々木室内川島石中鈴木正昭・恵美子 部村木室内川島 美俊美奈一顯正 子充敏子郎次子美子	柴山布黒宮柴中溝 田野村内山島口 素ト明忠英漢素興 伸シ二嘉夫人子治
-------------------------------------	---	---	--	---

### 賛助会員 C

内柱綾子 斉藤松次郎 岡田喜美江 水谷佳余子 小石川恵子 西澤敏夫 湯浅康正	津ノ国光恵眞智愛邦 八木嶋川木谷川 武小鈴深小	中小矢太山水富 谷出野田崎野田 塩芳静重京壽 子典枝一子子茂	長松小岩柳柳山 倉田野城澤生口 久一美津正幸球和 子路子光輝子子	河鶴西金山片能 村田尾子田岡登 公和紀武倭みい 子子潔子昌子子
--	-------------------------------	---	---	--

## 点滴

名古屋いのちの電話が1985年に発足して18年。この間に電話と言う言葉が意味するところは大きく変わった。グラフが示すように携帯電話の契約台数は住宅用電話の約2倍なのだ。そして携帯電話とは言われているが、携帯電話の通話のほとんどは音声通話ではなくインターネットメールのやり取りである。



このようにIT革命が急速に進む時、電話相談も好むと好まざるとに拘わらず影響を受けているのだろう。1986年には、18%あった20歳以下の青少年からの相談電話が2002年には4.2%と激減している。

名古屋いのちの電話もフリーマーケットやチャリティコンサート等のお知らせをホームページでもお知らせするようになってもう3年になる。残念ながら、双方向性の通信手段であるインターネットであるのに、名古屋いのちの電話のホームページは一方的にお知らせするだけで、多くのホームページが持っている読み手が参加できる掲示板すら設けていない。近い将来インターネットでの相談を受け付けることも必要になるかも知れない。

名古屋いのちの電話のホームページのWebページは <http://www4.ocn.ne.jp/~lln/> です。

一枝子  
智津恵  
辰三美智

藤村田出

佐花粟中

子惺子子よエ子寺子一子子子子子聖子美  
郁 陽紀きミ晏 及忠信淳照智 文悦

橋田沢藤田岡田 里藤川輪殿出田 野

高松井佐上片野白宮後森三野中吉柿中

子子親子恵  
恵知  
美周宜美  
屋 邊瀬原  
士林渡湯川

子寺子子子代子代夫い郎之子尚子子彦  
奈智子子子つずる建  
美佐洋鋪か邦し昌は治博・篤正珠智  
賀 地頭川村田島川田藤口夏雄玉本川田  
須林倉鬼中中岩大石永佐野朝兒榎西兼

協会代表 聖心同窓会 豊田カトリック幼稚園  
東海支部 田修道院  
半田教会 ヤマネット  
電話相談

子子子子徳  
文妙喜芳忠  
田村田木田  
盛野宮真福

子子彦潤子一男子幸二子子征子子子子  
洋佳俊 登喜 敏律弘篤あ千正厚・秀  
井富浦井野尾田田田藤橋藤藤 厚 本本  
永常三長河橙吉豊石矢佐棚伊加小榎山

子子和眸子  
智和平 昭

雄美矢寺子子子子子子子子子子子子子  
重多一 幸て佳 吉郁邦賢平靖昌真

田君井下藤  
細五鳥森加

宅藤澤 川田瀬木垣田中上居木田良原道院  
小近大長中守成鈴稻吉山村鳥見粟泰梶

枝介子道子緒子

こ子子世子修子郎子子彦夫子子子子子男

仲晋恵 陽

ひ多良和訓 陽哲美早輝暢周勝愛陽文

部川田部田友  
服中山春神西

寄付金 木田岡 下村田間山井保藤 倉田洞瀬  
鈴樋風菅浜澤神若鳥花武加林鎌吉大村  
曹洞宗 慶昌院 聖心同窓会 豊田カトリック幼稚園  
日本基督教団 東山教会

恵江男雄子子子子子子子子子子子子子子子子子子子  
・優良恒美夕敏 友悦勝和浩博玲 鑛美精久和  
彰和本嶽藤下村岡海野本口田本橋 光 田原本倉浦日山  
田知 豊小橋大伊山河福鳴中松山森岡大法岩菅木長梶四桐

吾子邦子子子志覚ち子子子枝子子正一明子男道夫子清  
信純正美み愛武 さ陽・英直よ信辰義幸重 輝香  
東田川野藤隈木原木野邦久藤山沢藤野沢川部田辺村  
坂生内小加松八小成田宮和近市西佐平柳早春神渡西

子子子子子子夫輝寺嘉子雄子子夫美雄男雄子子子示泉  
敦亨律郁あ淳幸 沢 宏光郁愛信江崇立次靖美洋猷  
木合原 田戸澤 原内玉橋野村田安田口澤田井條尾  
鈴落安林秋坂柳永笠竹児高水志豊子太樋三粟永北平

典二江智ミ代子浩保子子江子子子子子子子子子子子子子  
芳亮喜 ト將之 球純温治喜昭美善妙今省篤安松 次三緒子

出田田木野本 原田生 田藤藤屋田村子藤田田藤友  
小岩岡鈴山梨野平石塩柳林林白斉五土多野金加矢戸斉西

平真雄子子子子子子子子子子子子子子子子子子子  
順 喜文昌和 良純孝澄富康み登則い 静リ塩綾ま佳

ク リ ス マ ス 歳 末 募 金  
杉水太中山岡梶西佐高志鈴坂伊石中多志尾長中内石榎  
幼き 日本基督教団 聖心同窓会 豊田カトリック幼稚園  
日本基督教団 東山教会

八事聖靈修道院 日本基督教団半田教会 日本基督教団春日井教会婦人会  
日本基督教団熱田教会婦人会 聖心の布教姉妹会鳴海修道院

日本キリスト改革派八事伝道所	カトリック恵方町教会	カトリック平針教会
日本キリスト教団岡崎教会	栄冠幼稚園	日本基督教団熱田教会
聖マリアの無原罪修道会本部	日本ルーテル希望教会	ドミニコ会聖ヨゼフ修道院
日本聖公会名古屋聖マルコ教会	カトリック神言修道会	日本基督教団豊田教会
井上幼稚園	日本基督教団天白教会	日本キリスト教団愛知守山教会
カトリック瑞浪教会	日本キリスト教団中京教会	日本基督教団豊山教会
一宮聖光幼稚園	社会福祉法人聖霊病院	聖マリア幼稚園
カトリック南山教会	名古屋YWCA	金城学院
カトリック平針教会		日本聖公会名古屋ステパノ教会

日本ガイシ(株)	(株)三光堂	宝泉寺	(株)三務プレジジョン	理研産業(株)
(株)伊藤工務店	川北電気工業(株)	(株)東海通信資材サービス	(株)吉田SKT	西枇工業(株)
(株)サンゲツ	(株)NTTドコモ東海	(株)ミヤタコーポレーション	イリヤ化学(株)	
小島プレス工業(株)	黒金化成(株)	高木製作所	盛田(株)	岡谷鋼機(株)
アサダ(株)	愛三工業(株)	(株)タケヒロ	豊田工機(株)	中村産業(株)
豊田通商(株)	尾張精機(株)	(株)フジトランスコーポレーション	オフィス・コア(株)	中央精機(株)
NTTクオリス東海	(株)東海理化	アイシン精機(株)		豊田紡織(株)
トヨタ自動車(株)				

### 賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力添えを賜りますようお願いいたします。社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員(年間1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です
- (4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
 口座番号 UFJ銀行大津町支店(普) 477029  
 郵便振替口座 00810-8-53758

お問い合わせ…社会福祉法人愛知いのちの電話協会 名古屋いのちの電話事務局 ☎ 971-5181

税法上の優遇措置は次の通りです。

個人の所得控除の場合

1. 寄付をした個人は確定申告によって次の限度内で所得税法上の寄付金控除が受けられます。

$$\left( \begin{array}{l} \text{寄付金額とその年分の所得金額(総所得金額及び山林} \\ \text{所得金額の合計額)} \end{array} \right) \times 25\% \text{のいずれか低い方の金額} - (1\text{万円})$$

法人の損金算入の場合

2. 寄付をした法人は、確定申告によって次の限度額で法人税法上損金算入ができます。

- ① 一般損金算入限度額(法人税法第37条第2項該当)

$$\left( \text{資本等の金額} \times \frac{2.5}{1000} \times \frac{\text{事業年度の月数}}{12} + \text{当該事業年度の所得金額} \times \frac{2.5}{100} \right) \times \frac{1}{2}$$

- ② 社会福祉法人等に対する寄付金の特別損金算入限度額(法人税法第37条第3項第3号該当)  
 社会福祉法人、学校法人及び試験研究法人等に対する寄付金は、その合計額について、上記①の一般損金算入限度額のほかに、これと同額の別枠で損金算入することができます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
 名古屋いのちの電話

2003年春

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号  
 事務局 ☎ 052-971-5181 郵便振替口座 00810-8-53758  
 相談電話 ☎ 052-971-4343 UFJ銀行大津町支店(普) 477029  
 携帯相談電話 NTTドコモ東海「# 9556」

2003年3月1日発行  
 発行人 長岡 利貞  
 編集人 広報委員会